

本管用点検記録表

点検年月日	年 月 日
点検会社名	
点検者氏名	

業務名			
管種	管径	延長	路線番号(施設ID=SEQNO)

		上流人孔から本管を点検				下流人孔から本管を点検			
		上流人孔番号				下流人孔番号			
項目		点検結果(異常の有無)		異常の状態等	対処の要否	点検結果(異常の有無)		異常の状態等	対処の要否
管口	破損	有	無			有	無		
	腐食	有	無			有	無		
	変色	有	無			有	無		
管体	破損	有	無			有	無		
	腐食	有	無			有	無		
	変色	有	無			有	無		
流化状況	滞水(たるみ)	有	無			有	無		
	堆積	有	無			有	無		
浸入水		有	無			有	無		
樹木根侵入		有	無			有	無		
その他()		有	無			有	無		
点検者の所感									

異常の数	
------	--

上流人孔から見た本管の状況写真	下流人孔から見た本管の状況写真

本管点検集計表

[illegible]

点検調査記録表(マンホール蓋)

業務名				人孔番号(施設ID=SEQNO)			
点検日		年 月 日 () 天候:		点検会社名		点検者氏名	
蓋及び蓋周辺状況	処理区・排水区	北坂戸中央処理区 ・ 入西処理区 ・ 鶴舞処理区			処理分区	処理分区	
	管路区分	幹線 ・ 枝線			道路区分	車道(5.5m以上)・車道(未満)・歩道	
	道路種別	市道(市道番号)・県道 ・ 国道 ・ 私道				特殊箇所(交差点・カーブ等) 無 ・ 有	
	舗装種別	(種別) As ・ Co ・ 未舗装(砂利)・その他()			人孔種別	1号人孔・特殊1号人孔・ 小型人孔・その他()	
		(周辺の損傷や段差)E(無し)・A(有り)					
		(周辺の段差 20mm以上)E(無し)・A(有り)					
施工年度			蓋取替有無	無 ・ 有			
蓋種別	番 (蓋タイプ変遷表参照)			耐荷重	T・8・T・14・T・20・T・25・不明		
点検・調査結果	蓋状況	外観:クラック	E(無し)・A(有り)		高さ調整部の損傷 (欠け・クラック)	E(無し)・A(有り)	
		:欠け	E(無し)・A(有り)		蓋・枠間の大きな段差	E(無し)・A(有り)	
		がたつき	E(音や動きがない) ・A(音や動きがある)		枠下状況の破損やずれ	リング 5cm 枚、10cm 枚、15cm 枚	
		摩耗:残存模様高 H>3mm・1.2~3mm・H<2mm	判定:C			E(無し)・A(有り)	
		腐食:錆出し表示消滅	E(無し)・B(有り)		調整コンの破損やずれ	高さ cm	
		:開閉性能の阻害	E(無し)・B(有り)			E(無し)・A(有り)	
		機能作動:浮上防止	E(機能する)・A(機能しない)				
		:かぎ構造	E(機能する)・A(機能しない)				
	:転落防止	E(機能する)・A(機能しない)					
	緊急度判定						

点検調査記録表(マンホール本体)

部位		円錐種類	片寄せ円錐、円錐(旧型)		斜壁高	300・450・600・その他()		備 考	
		異常項目	調査結果						
		Aランク	結果	Bランク	結果	Cランク	結果		
マンホール 本体の状況	①調整部	調整部状況	調整モルタル及び リングが破損・欠落		調整モルタル及び リングのずれ		調整モルタル及 びリングのずれ・ クラック		
	②斜壁	腐食	鉄筋露出		骨材露出		表面の荒れ		
		破損	欠落・陥没		全体に亀裂		軽微な破損(A・ B以外)		
		クラック	全体にクラック (人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック (人孔半周、幅2~5mm以上)		軽微なクラック (幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんでいる状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10~50%以上		内径の10%未満		
	③直壁 (管口部含む)	腐食	鉄筋露出 (表面pH: 1程度)		骨材露出 (表面pH: 1程度)		表面の荒れ (表面pH: 3以上 5以下)		内面表面pH ^{※1} (下流管口)
		破損	欠落(陥没)		全体に亀裂		軽微な破損(A・ B以外)		
		クラック	全体にクラック (人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック (人孔半周、幅2~5mm以上)		軽微なクラック (幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんでいる状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10~50%以上		内径の10%未満		
		タルミ	内径の3/4以上		内径の1/2~3/4		内径の1/2未満		
	④足掛金 具	腐食・劣化 状況	欠落している		鉄筋が細くなっている		錆の発生		足掛本数 ^{※2}
	⑤インバート	インバート状況	インバートがない		部分的な欠損		—		
	⑥全体	臭気	常に発生		使用ピーク中に発生		季節的に発生		
		不明管	台帳にない管が接続されている		—		—		
	⑦流下状況	油脂・モルタル・土砂等の 堆積状況	管径の1/3以上の付着		管径の1/3~1/10の付着		管径の1/10未満の 付着		
	緊急度・健全度判定								

※1 表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合(圧送管吐出先部、伏越しマンホール等)で測定する
(腐食ランクが判定される箇所では表面pHを測定する。判定されない箇所では測定不要)

※2 足掛本数は、点検・調査実施時に残存している本数とする。

写真

蓋及び蓋周辺	蓋(裏面)
マンホール本体(全景)	マンホール本体(不具合箇所)
備 考	

マンホール本体点検調査集計表

マンホール蓋点検調査結果一覧表・判定結果一覧表

[illegible]